

平成18年12月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年4月28日

会社名	株式会社ワールドインテック	上場取引所	JASDAQ
コード番号	2429	本社所在都道府県	福岡県
(URL http://www.witc.co.jp)			
代表者	役職名	代表取締役	
	氏名	伊井田 栄吉	
問い合わせ先	責任者役職名	取締役経営企画管理本部長	
	氏名	菅野 利彦	TEL (093) 533-0540

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年12月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年1月1日～平成18年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第1四半期	7,700	57.0	173	43.9	171	80.6	77	50.4
17年12月期第1四半期	4,905	(-)	120	(-)	94	(-)	51	(-)
（参考）17年12月期	22,661		915		881		429	

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18年12月期第1四半期	1,398	29	—	—
17年12月期第1四半期	—	—	—	—
（参考）17年12月期	7,761	31	7,501	51

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰による影響が懸念されたものの、輸出の増加、企業の設備投資の増加、個人消費の増勢も見え、堅調に推移しているものと考えております。

当社の人材ビジネスもこのような日本経済の堅調さを受け、昨年と同様に需要拡大が続き、増収・増益となっております。

ファクトリー事業は、九州地区の好調さ（主に自動車・半導体）を受けて順調に推移し、また昨年独自に作成した「製造請負基準書」の普及による差別化も進み、増収（前年同期比36.8%増）となり、5,988百万円の売上高を計上いたしました。一方利益面では売上高営業利益率は若干の低下がありましたが、営業利益130百万円を計上いたしました。

研究技術事業は、営業拠点の拡大、教育・技術部門の強化で採用人員が拡大し、増収（前年同期比43.0%増）となり、532百万円の売上高を計上いたしました。一方利益面では投資コストが増加しましたが、営業利益37百万円を計上いたしました。

各種サービス事業は、セールスプロモーション事業が順調に立ち上がり、当初の予定通りであります。損益分岐点までの売上高に達せず当第1四半期の営業損益は2百万円の営業損失となりました。

当社の人材ビジネスにおいては、期の前半は人材確保に注力する傾向にあり、募集費や社宅のコスト等が先行するため利益率は低い水準で推移いたしますが、期の後半は投資した先行コストを回収し、期を通して所定の利益率を達成する傾向にあります。今期も同じように推移しておりますが、予定利益進捗率は前年を上回っております。

また、情報通信事業は当第1四半期より損益計算書についても連結対象となり、売上高1,075百万円、営業利益8百万円を計上いたしました。イーサポートグループの子会社化によるシナジー効果はまだ充分には発揮されておりましたが、期後半に現れるものと考えております。

以上の結果、売上高は7,700百万円と前年同期比2,795百万円（57.0%）の増収となりました。また、利益面においては、経常利益171百万円と前年同期比76百万円（80.6%）の増益、四半期純利益77百万円と前年同期比25百万円（50.4%）の増益となり、売上高及び利益とも計画を上回り、順調に推移いたしました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年12月期第1四半期	8,101 (－)	3,051 (－)	37.7 (－)	55,217	81
17年12月期第1四半期	—	—	—	—	—
(参考) 17年12月期	8,036	3,027	37.7	54,674	63

(注) 財政状態（連結）の変動状況につきましては、今期第1四半期が初めての記載となりますので平成17年12月期第1四半期の記載は省略しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	円
18年12月期第1四半期	322	△48	△45	3,321
17年12月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 17年12月期	280	△78	1,042	3,092

(注) 連結キャッシュ・フローの状況につきましては、今期第1四半期が初めての記載となりますので平成17年12月期第1四半期の記載は省略しております。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

1. 資産、負債及び資本の状況

資産は、平成17年12月末に比べて65百万円増加いたしました。

これは主に現・預金の増加等であります。

負債は、平成17年12月末に比べて35百万円増加いたしました。

これは主に賞与引当金の増加によるものであります。

資本は、平成17年12月末に比べて23百万円増加いたしました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下資金という。）は、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により資金が、平成17年12月末連結年度末に比べて228百万円増加して資金は3,321百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は322百万円となりました。これは主に法人税等の支払が254百万円、売上債権の増加163百万円によるキャッシュ・フローの減少があったものの、未収金の資金化等による収入で相殺されたものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は48百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は45百万円となりました。これは主に配当金の支払35百万円、長期借入金の返済12百万円によるものであります。

○ 添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書

（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

〔参 考〕

平成18年12月期の連結業績予想（平成18年1月1日 ～ 平成18年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	15,677	494	145
通期	34,124	1,250	527

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 8,294円62銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

第1四半期における業績は計画を上回っておりますが、営業拡大・募集費等において不透明要因もあるため、現時点では中間期及び通期の業績予想につきましては、平成18年2月22日発表の予想を変更しておりません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成18年12月期 第1四半期)		(参考) 平成17年12月期	
	金額	構成比率	金額	構成比率
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	3,362		3,131	
2. 受取手形及び売掛金	3,112		2,949	
3. たな卸資産	91		63	
4. 繰延税金資産	27		48	
5. その他	160		512	
貸倒引当金	△2		△2	
流動資産合計	6,753	83.4	6,703	83.4
II 固定資産				
1. 有形固定資産	161	2.0	122	1.5
2. 無形固定資産	410	5.0	432	5.4
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	133		133	
(2) 繰延税金資産	76		72	
(3) 敷金及び保証金	549		554	
(4) その他	30		29	
貸倒引当金	△12		△12	
投資その他の資産合計	776	9.6	777	9.7
固定資産合計	1,348	16.6	1,332	16.6
資産合計	8,101	100.0	8,036	100.0

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成18年12月期 第1四半期)		(参考) 平成17年12月期	
	金額	構成比率	金額	構成比率
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	308		265	
2. 短期借入金	1,130		1,142	
3. 未払費用	2,413		2,377	
4. 未払法人税等	117		336	
5. 賞与引当金	211		10	
6. その他	524		547	
流動負債合計	4,705	58.1	4,679	58.2
II 固定負債				
1. 退職給付引当金	62		54	
2. 役員退職慰労引当金	13		12	
固定負債合計	76	0.9	66	0.9
負債合計	4,781	59.0	4,746	59.1
(少数株主持分)				
少数株主持分	267	3.3	261	3.2
(資本の部)				
I 資本金	691		690	
II 資本剰余金	854		852	
III 利益剰余金	1,512		1,483	
IV 為替換算調整勘定	△6		1	
資本合計	3,051	37.7	3,027	37.7
負債、少数株主持分及び資本合計	8,101	100.0	8,036	100.0

(注) 四半期連結貸借対照表につきましては、今期第1四半期が初めての記載となりますので平成17年12月期第1四半期の記載は省略しております。

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前四半期 (平成17年12月期 第1四半期)		当四半期 (平成18年12月期 第1四半期)		増減		(参考) 平成17年12月期	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	増減率	金額	構成比率
I 売上高	4,905	100.0	7,700	100.0	2,795	57.0	22,661	100.0
II 売上原価	4,181	85.2	6,312	82.0	2,131	51.0	19,145	84.5
売上総利益	724	14.8	1,387	18.0	663	91.6	3,516	15.5
III 販売費及び一般管理費	603	12.3	1,214	15.8	610	101.1	2,600	11.5
営業利益	120	2.5	173	2.2	52	43.9	915	4.0
IV 営業外収益	0	0.0	5	0.0	4	484.2	6	0.1
V 営業外費用	26	0.5	7	0.0	△18	△71.1	40	0.2
経常利益	94	2.0	171	2.2	76	80.6	881	3.9
VI 特別利益	—	—	0	0.0	0	—	1	0.0
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	94	2.0	171	2.2	76	80.9	883	3.9
法人税、住民税及び事 業税	80		68		△11		469	
法人税等調整額	△36		19		56		△16	
少数株主利益	—		6		6		—	
四半期(当期) 純利益	51	1.0	77	1.0	25	50.4	429	1.9

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成18年12月期 第1四半期)	(参考) 平成17年12月期
	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	171	883
減価償却費	15	23
連結調整勘定償却額	19	—
貸倒引当金の増減額(減少：△)	—	△13
退職給付引当金の増減額(減少：△)	8	16
役員退職慰労引当金の増減額(減少：△)	0	1
受取利息及び配当金	△0	△1
支払利息	4	2
売上債権の増減額(増加：△)	△163	△577
たな卸資産の増減額(増加：△)	△27	—
未払費用の増減額(減少：△)	36	642
未払消費税等の増減額(減少：△)	△13	△71
役員賞与の支払額	△12	△12
その他	541	△184
小計	582	709
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△4	△2
法人税等の支払額	△254	△428
営業活動によるキャッシュ・フロー	322	280

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成18年12月期 第1四半期)	(参考) 平成17年12月期
	金額	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	△39
定期預金の払戻による収入	—	33
有形固定資産の取得による支出	△51	△60
無形固定資産の取得による支出	—	△7
投資有価証券の取得による支出	—	△120
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	204
敷金及び保証金の増減額 (増加：△)	5	△87
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48	△78
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (減少：△)	—	140
長期借入金の返済による支出	△12	△50
株式の発行による収入	2	968
配当金の支払額	△35	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45	1,042
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	228	1,247
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,092	1,845
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,321	3,092

(注) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、今期第1四半期が初めての記載となりますので平成17年12月期第1四半期の記載は省略しております。

セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

(単位：百万円)

	ファクトリー 事業	研究技術事業	各種サービス 事業	情報通信事業	計	消去又は 全社	連結
売上高	5,988	532	106	1,075	7,702	(1)	7,700
営業費用	5,857	494	109	1,067	7,528	(1)	7,527
営業利益又は 損失(△)	130	37	△2	8	173	(-)	173

前四半期

(単位：百万円)

	ファクトリー 事業	研究技術事業	各種サービス 事業	情報通信事業	計	消去又は 全社	連結
売上高	4,378	372	154	-	4,905	-	4,905

(注) 前四半期は売上高のみを記載しておりますので、営業費用及び営業利益(損失)につきましては記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。